

営農継続に向けた農地情報共有の取組み（概要）

1 【貸借可能な農地の把握】

農地毎の状況調査

- ・耕作放棄地等のマップ化
- ・現地調査（荒廃の有無、周辺道路の状況等）
- ・その他（地権者の意向、非農地）等

DB化

利用可能な農地情報 《地図情報(GIS)を活用》

- ・耕作に必要な条件を検討・付与

関連事業

耕作条件の整備

- ・耕作放棄地の再生
- ・鳥獣害対策
- ・簡易な基盤整備 等

2 【マッチング】

耕作者の「借りたい土地の条件」（意向調査）

・地域、時期、面積 等

耕作者

耕作者

①相談 ⇄ ②斡旋

①相談 ⇄ ②斡旋

●●市の相談窓口

●●市の相談窓口

DB化

利用可能な農地情報 《地図情報(GIS)を活用》

DB化

利用可能な農地情報 《地図情報(GIS)を活用》

③情報登録

⑤協力（農業公社、JA等関係機関）
マッチング

④情報収集

【市町村を跨る情報共有】

耕作者の「借りたい土地の条件」

※各市町村内で代替農地が見つからなければ市町村を跨った調整

各市町村内